

人権啓発
ビデオ

知らなかつた事実
差別される不安
見いだした生き方

つむ
紡ぎだす未来
～共に生きる～

差別はすぐには無くならないかもしれない。
でも、一人ひとりが考えることで変えられる未来は、きっと、ある。

被差別部落出身者、在日コリアン、日本に住む外国人、同性愛者—。
あなたの身近にいるかもしれない被差別当事者の日々の想いをドラマで描きました。
観て、感じて、考えて。考え方のヒントも示した人権啓発ビデオです。



2007年作品

■VHS/カラー/35分(字幕入り)
■「学習の手引き」付き
■価格:35,000円+税

●企画・制作:人権啓発ビデオ制作委員会/社団法人 部落解放・人権研究所/大阪府/大阪市/堺市
●制作協力:株式会社 元気な事務所

(株)解放出版社 <http://www.kaihou-s.com>

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12 TEL.06-6561-5273 FAX.06-6568-7166

ドラマ部 (約30分)

住宅販売会社で働く佐藤晃は、ある日、父親から祖父母が部落出身だったことを告げられます。

「だから、私たち家族も部落出身者と見なされることになる」

部落に行ったこともない、部落問題についてほとんど知識もない自分が“部落出身者”……。

自分の知らないところで調べられ、結婚や就職のとき、いつ、どこで、誰に差別されるかもしれない——。

「部落は怖い？ じゃあ、オレも怖いのか？」

とまどう晃は初めて差別される不安を感じ、身近にいた「被差別当事者」の感じるプレッシャー（抑圧）に想いを馳せます。

部落出身であることを隠してきた祖父母。本名を名乗りたくても日本社会に同化することを強いられている在日の知人一。

けれど一方で、偏見や差別によって排除されている人たちの存在に気づき、

考えはじめる人たちもまた、身近にいたのです。

「どこかよその世界の話じゃない」

「僕たちが、知らなかっただけなんです」

自分が部落出身者として差別される不安はある。

けれど、自分を否定するのではなく、偏見や差別と向き合い、

共に生きる社会を紡ぎだせれば……。

これまでの自分を振り返った晃は、在日の知人にこれからは本名

で呼ばせてほしいと申し出ること、自ら一歩を踏み出すのでした。

メッセージ (約5分)

様々な立場を演じた出演者がメッセージを語り
ます。気づき、知り、想いを馳せて自分を見つめる。

お互いの人権を尊重する
社会にするためにはどう
すればいいか。

「こんな考え方もできる」と
いうヒントを示します。



出演

平本光司
鈴木将浩
前田真紀
米田千尋
はりた照久
志乃原良子
鳴尾よね子
結城市朗
梅本真理恵
松蔵宏明
工藤雅彦
吉川幸成
濱口秀二
谷口高史

制作スタッフ

演出 松下裕治
撮影 牧 逸郎
照明 茂永雄介
ビデオエンジニア 山川 浩
音声 若林直樹
編集 徳田裕恒
選曲・効果 増南 正
スーパー 青木義貴
キャスティング 竹内和子
メイク・スタイリスト 藤原寿代
和田明香
製作主任 松山秀行
演出助手 青木雅浩
撮影助手 中野鉄平
照明助手 堀亀 誠
清水太郎
三谷拓也
池田良子
上田雅史
大継康高
音声助手
製作進行

撮影協力

大阪市立住吉総合福祉センター
ソフト産業プラザ イメディアオ
大和ハウス工業株式会社
天満韓国料理店 武福
Public Dining BAR Bogey
(50音順)

協力

金光敏
土肥いつき
丹羽雅雄
尾場 太(字幕監修)

企画協力

大阪企業人権協議会
大阪同和・人権問題企業連絡会

企画・制作

人権啓発ビデオ制作委員会
社団法人 部落解放・人権研究所
大阪府
大阪市
堺市

制作協力

株式会社 元気な事務所

お問い合わせ・お申し込み先

(株)解放出版社

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12
TEL.06-6561-5273
FAX.06-6568-7166
http://www.kaihou-s.com

ビデオ注文書

つむ
紡ぎだす未来
～共に生きる～

価格 35,000円+税
ISBN 978-4-7592-9029-5

取り扱い	お名前(ふりがな)
	ご住所 〒
	TEL () -